

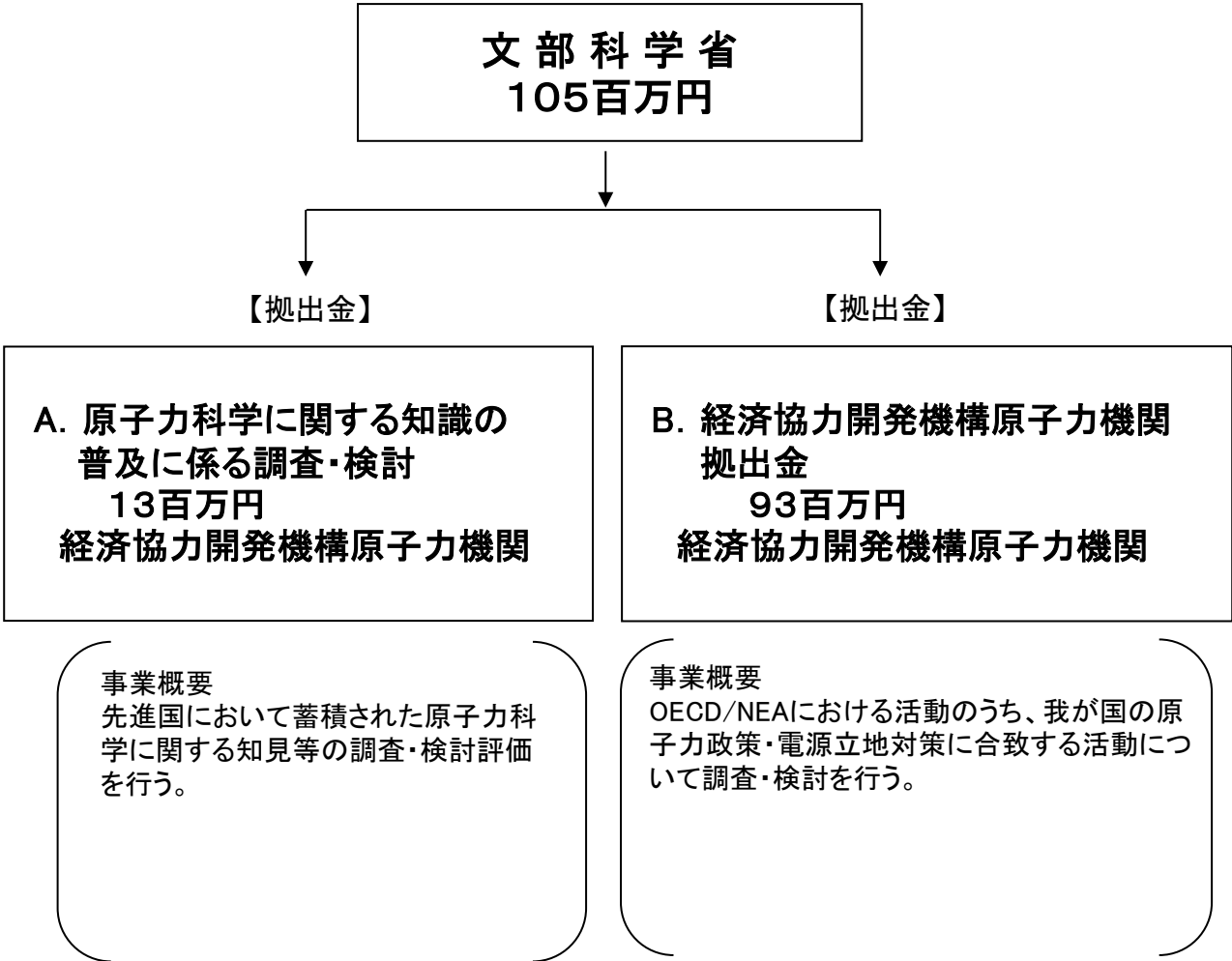
	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	経済協力開発機構原子力機関拠出金			担当部局庁	研究開発局		作成責任者
事業開始年度	平成元年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	研究開発戦略官(核融合・原子力国際協力担当)付		研究開発戦略官(核融合・原子力国際協力担当) 福田剛毅
会計区分	エネルギー対策特別会計電源開発促進勘定						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	特別会計に関する法律施行令 第51条1項24号			関係する 計画、通知等	第6次エネルギー基本計画(令和3年10月閣議決定)		
政策	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応			主要経費	エネルギー対策費		
施策	9-5 国家戦略上重要な基幹技術の推進						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211224-mxt_kanseisk02-000019646_9-5.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	経済協力開発機構原子力機関(OECD/NEA)に拠出金を拠出し、先進国において蓄積された原子力科学に関する知見、各国の原子力の研究開発に関する動向などに関する調査レポート等を活用し、我が国の原子力政策に反映するとともに、調査レポートの公開などを通じ一般公衆などに対し情報発信等を行い、研究開発機関等で実施する原子力分野の研究開発に活用し、原子力分野の研究・開発・利用の基盤整備を図る。						
現状・課題 (5行程度以内)	我が国は加盟国の一員として、OECD/NEAにおいて各国の原子力政策・技術に関する情報・意見交換等を実施しており、これは我が国における原子力政策の立案や原子力分野の研究開発に活用し、原子力分野の研究・開発・利用の基盤を整備するために重要である。加盟国からの専門家で構成される常設技術委員会では、個々の課題について活動成果として協議された結果がレポートして発出される。また公開する技術情報の方向性などの意思決定において我が国のプレゼンスを向上するため、公開情報として対外的に発信されるレポート数やOECD/NEAの邦人職員を増加することで、本事業を促進していく必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	OECD/NEAにて実施されている以下の活動について拠出金を拠出する。 Ⅰ．原子力科学に関する知識の普及に係る調査・検討 先進国において蓄積された原子力科学に関する知見を調査・検討し、情報発信等を行う。 Ⅱ．経済協力開発機構原子力機関拠出金 OECD/NEAにおける活動のうち、我が国の原子力政策・電源立地対策に合致する活動の調査・検討を行う。						
事業概要URL	https://www.oecd-neo.org/						
実施方法	直接実施						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	113	110	115.6	125.4	127.4
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	113	110	115.6	125.4	127.4	
	執行額(G)		103	100	105.3		
	執行率(%) =(G)/(F)		91%	91%	91%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		91%	91%	91%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	電源立地対策費					
	(目)	国際原子力機関等拠出金	125	127			
		その他					
	計(A)		125.4	127.4			

活動内容① (アクティビティ)		先進国において蓄積された原子力科学に関する知見、各国の原子力の研究開発に関する動向などに関する経済協力開発機構原子力機関(OECD/NEA)の調査レポート等を活用し、我が国の原子力政策に反映するため、OECD/NEAに拠出金を拠出する。									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		OECD/NEAへの参加・協力	OECD/NEAに対する拠出金額	活動実績	百万円	103	100	105.3	-	-	
				当初見込み	百万円	113	110	115.6	125.4	-	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	OECD/NEAには、30か国以上が加盟しており、加盟国に蓄積された原子力分野における研究開発に関する動向などの情報を収集できる場であるとともに、NEAにおいて調査レポート等がまとめられている。OECD/NEAに拠出金を拠出し、運営委員会や常設技術委員会へ参加して各国の情報を得るとともに、調査レポート等から情報を収集するため、レポート数を短期アウトカムとして設定する。									
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度		
		OECD/NEAにおける、原子力政策・研究開発等に関する様々な活動成果を、我が国の原子力政策の立案に活用することに加え、国際的な原子力基盤整備の貢献に資するため、毎年度、過去3年間のレポート数の平均以上のレポートを公開する。	OECD/NEAが、原子力政策・調査・研究開発等に関する様々な活動成果について、対外的に発信している公開レポート数(目標年度欄には直近3か年実績の平均値を記載)	成果実績	公開レポート数	69	30	58	-		
				目標値	公開レポート数	77	75	62	52		
				達成度	%	89.6	40	93.5	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		OECD/NEA公式ホームページ(http://www.oecd-nea.org/)									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	OECD/NEAに拠出金を拠出して運営委員会や常設技術委員会へ参加して収集した情報し、OECD/NEAの活動が我が国の研究開発・政策立案に裨益するものとしていくためには、OECD/NEAにおいて我が国のプレゼンスが発揮されていくことが重要であり、OECD/NEAの職員数に占める日本人幹部職員が増加することを、長期アウトカムとして設定する。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度		
		OECD/NEAの意思決定における我が国のプレゼンスの向上	OECD/NEAの幹部職員数(D1相当以上)に占める日本人幹部職員数	成果実績	人	2	1	1	-		
				目標値	人	3	3	2	2		
				達成度	%	66.7	33.3	50	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		外務省算出									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		-									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		-									

[illegible]

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

【経済協力開発機構原子力機関拠出金】



費目・使途
(「資金の流れ」において
ブロックごとに最大の金
額が支出されている者につ
いて記載する。費目と
使途の双方で実情が分
かるように記載)

A.			B.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
拠出金	原子力科学に関する知識の普及に係る調査・検討	12.7	拠出金	経済協力開発機構原子力機関拠出金	92.7
計		12.7	計		92.7

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

